



発行 東京片貝会
 責任者 佐藤祐一 事務局 吉原勉
 〒270-1167 我孫子市台田3-175
 電話 04-7184-4323

東京片貝会

第46回 総会御案内

新緑薫るさわやかな季節となりました。第46回の総会を左記の通り開催致します。中越地震に会い、復興に取り組んでいる故郷から、お客様をお招きします。心に残る一日となることを願っています。お友達を誘い合せて、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 平成17年6月26日(日)午後二時(正午より受付)
 会場 かんぽヘルスプラザ東京
 東京都豊島区東池袋4-7-7
 会費 七、〇〇〇円
 お問い合わせ 返信は6月18日(土)までをお願いします。

会の動き

理事会 12/19
 於：かんぽヘルスプラザ
 黒崎副会長以下16名
 ・会報発送 約八百部
 ・新年会の打ち合わせ
 新年祝賀会 1/30
 於：かんぽヘルスプラザ
 出席者85名
 片貝から1名参加
 (二面参照下さい)

市褒賞条例で表彰

於：小千谷市役所 3/10
 故佐藤量八氏ご遺族に代わり阿部修次前会長出席「昨年、佐藤氏の蔵書の寄贈に対して表彰された」
 中越・長岡応援イベント
 於：表参道・新潟館ネスパス 3/11

会員有志訪問

「片貝まつりと花火が紹介され、煙火協会藤塚会長のトークイベントがあった」(三面参照下さい)
 小千谷市長杉並区議会挨拶傍聴参加 3/17
 於：杉並区役所
 会員有志8名参加
 「関市長が、中越大震災に受けた各種支援の感謝の言葉を述べた」(三面参照下さい)

理事会

於：かんぽヘルスプラザ 4/10
 佐藤会長以下13名
 ・総会の打ち合わせ
 ・母校を励ます会講演者の件 など

東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇〇円とさせて頂いております。会報と同封されます郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。母校を励ます会のご支援は、三面をご参照下さい。

中越大地震 小千谷市片貝 生活基盤と心の復興へ

平成17年10月23日中越大地震発生以来七ヶ月が過ぎようとしています。郷里片貝では、余震が未だやまず、大雪にも見舞われながら、生活基盤の復興と心に受けた傷の復興に力強く頑張っています。地震発生後の、助け合い、励まし合いながらの立ち上がり、歩みの一部を紹介致します。

地震の概要

*大地震の発生と状況
 小千谷市の10/23の震度は6強が3回、5強が4回を始め、0時まで153回の震度が測定された。小千谷市の被災状況は、死者12人、負傷者785人、家屋被害全壊613棟、合計で一万一千九十七棟で、無被害は、わずかの7棟という強烈な地震であった。

小、中学校への激励

片貝小、中学校へは、全国の方々から沢山の暖かい激励や応援が届いた。東京片貝会も義援金、会長の訪問、理事の激励文などで応援した。
 *小学校
 秋田からのリンゴ、阪神大震災で被災された片貝出身者からの義援金、西宮の小学校からの激励、さいたま市の学校からの千羽鶴、鉛筆、キーキなど。
 *中学校
 激励メッセージは、県内を始め、厚木市、気仙沼市、小平市、名古屋、横浜市、松本市、八丈町などの中学校から。読売巨人軍の清原選手から、サイン入りバット、ボール、色紙、グラブなど沢山のプレゼントを頂いた。

年越し花火・復興への光

浅原神社の恒例の年越し百八発の花火は、神社の参道の灯籠はすべて倒れ、鳥居の一部は割れ、土蔵は全壊し、花火白雨の意見もあったが、地震被害の少なかつたことに感謝と新年への祈りを込めて、打ち上げられた。

被災の遅れ取り戻せ

片貝中学校の三年生は、受験を控え、1-7までの冬休業時間を、不足を補うために1/4から、授業を始めた。



復興の祈り、天まで届け 塞の神行事

片貝の塞の神行事は、1/15に行われた。「モックラモチおんまいど」昼夜の「福もちまき」600本のロケット・大小の塞の神に点火と同時に復興を祈願するスターマインの打ち上げ。俳優の江口洋介さんが参加。頑張れメッセージもあり、例年がない盛り上がりとなった。



新春の笑顔で 新年会 開催

平成17年1月30日
かんぽヘルスプラザ東京

平成十七年の新年会は、新役員による初めての大きな行事であったが、新しい仲間も参加もあり、会員84名、片貝から1名のご出席を頂き、盛大に開催された。

司会は、芝強さん(38卒)と内藤富美子さん(43卒)の新鮮なコンビで、黒崎勝(28卒)副会長の開会の辞で始まった。

佐藤祐一(27卒)会長は、「中越大地震へのお見舞いを申し上げます。HPを開設した。多忙のため会に参加できない方々に情報発信をした。小千谷市の要職を片貝の人達が占めているが教育の伝統の力が大きい。10年、20年先の小、中学校のあり方、人づくりが重要と考えている。」などの挨拶があった。

新役員の紹介があり、新しく選出された各学年ごとの理事が紹介された。

感謝状が、前会長の阿部修次氏へ贈呈され、お礼の言葉があった。また、欠席の前副会長の黒崎正氏へ30年に及ぶ会役員での貢献に対し感謝状を贈呈する報告があった。

母校を励ます会本田秀幸

(37卒)会長から「総会で、中学校へ図書費十数万ずつ贈呈した。先生、生徒さんからお礼の手紙を頂いた。中学では15才のハローワーク」を購入し、生徒の進路指導に役立てている。講演会も好評で、今年も計画している。ご支援とご協力を」と報告があった。



片貝から参加の本田正憲氏から、故郷の近況の挨拶を頂いた。「暖かい」支援に感謝。片貝は頑張っています。片貝の被害は少なく、神社が受けて、神がかりの町と言う人もある。経済は打撃が多い、新潟へ遊びに来て下さい。」と語られた。

懇親会は、芝五郎さんの乾杯の音頭で開催された。楽しい、懐かしい話が進み、得意のカラオケ、詩吟、踊りと盛り上がり、恒例の「ああ上野駅」から「木遣り」の大会唱。今回は、学年の半纏を着た人も多く、心は故郷へ。阿部前会長の万歳三唱の後、吉井均(29卒)副会長の辞で「故郷の復興と発展を願ひ、皆さんとまたお会いしましょう。」と結ばれお開きとなった。

【新年会出席者氏名(敬称略)】
昭和21-10 山口ヨシ、芝五郎、浅田鉄二

昭和11-20 黒崎喜直、佐藤ヨシ、太刀川善蔵、阿部源一、岩片智恵子、中川克子、松下利夫、浅田栄三、石井ユリ、上田益美、江澤キヨ、氣田登美、小宮武夫、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、西山和子、山口光雄

昭和21-30 安達弘三、安達弘男、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、小林重夫、佐藤安治、清水敏雄、高野賢、山口明夫、吉原三代治、浅田義男、大塚順一、豊島文枝、中村恵美子、大坂照子、齊藤カツ、佐藤高巳、深野敦子、渡辺幸子、安藤真理子、石川春子、本田善一、石黒俊介、木下哲夫、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、吉原勉、吉原靖子、奥瀬洋子、黒崎勝、吉原宏、木下伸、野沼昭雄、小宮信雄、吉井均、安達弘之

昭和31-17 大塚国夫、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚、諸我時夫、吉井信、安達弘、井上知子、小野塚国春、神林省三、五十嵐哲郎、大矢美敬、上藤イヅ、小宮三郎、芝文夫、山家恵美子、本田秀幸、吉原敏明、小野塚和夫、芝強、佐藤正志、相崎俊夫、内藤富美子、吉井宏

【来賓出席者名(敬称略)】
本田正憲

会員短信(敬称略)

新年会のご案内のお返事で沢山の近況を頂きました。残念でございますが欠席でございます。皆様のご健康をお祈り申して居ります。

丸山 春 (昭6卒)
新会長様御苦勞様でございます。今年米寿を迎えますのでもう出席できません。ご盛會を祈っております。

黒崎 静 (昭10卒)
お役の方々御苦勞様でいらつしやいます。お若い方々のご出席をお祈り致します。地震は大変でございましたね。(草草)方様でございました。頑張ってください。

中野 みちよ (昭16卒)
ふる里の地震で心痛めまし

たが、片貝は被害少なく、まあ良かったですね。当日は踊りの新年会出席のため欠席させて頂きます。

三重堀 清 (昭20卒)
いつもお便り有り難うございます。片貝のニュースなど楽しく拝見して居ります。

新野 次朗 (昭21卒)
体調不良、外出不安

大井 悦子 (昭21卒)
同期の阿部前会長様には長期にわたり心にをつくされ感謝いたします。

忍足 良子 (昭22卒)
新体制での初めての新年会ご盛會をお祈りいたします。

野崎 真知子 (昭29卒)
かけがえのない故郷片貝の皆様方が地震の痛手から立ち直り、元の平和な生活に戻ら

れますように心からお祈りしています。

渡辺 千香子 (昭32卒)
還暦行事も無事終わりました。

寺町 明美 (昭37卒)
いつもありがとうございます。新役員の皆様ご苦勞様でございます。

山中 千夜子 (昭37卒)
昨年の中越地震は本当に大変でしたね。心が痛みます。皆様にお伝え下さい。

藤塚 弘 (昭43卒)
盛會をご祈念致します。

藤塚 伸雄 (昭48卒)
新しい仕事がスタートするため、都合が決まりません。

三枝 則子 (昭49卒)
はじめまして、これからよろしくお祈り致します。

平成16年度東京片貝会・会計報告 収支計算書 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	596,966	総会費	710,932
年会費(251名)	502,000	新年会費	437,320
総会費(78名)	581,000	役員会費	61,321
新年会費(85名)	595,000	県人会関連費	15,000
ご祝儀(15名)	167,000	浅原神社奉納	10,000
寄付金(20名)	230,195	遺贈・厄払・祝い酒	45,280
郵便貯金受取利息	13	渉外費	98,950
		慶弔金・見舞金	119,807
		通信費	135,410
		会報印刷費	321,917
		事務費	17,948
		小千谷新聞購読料	32,616
		交通費	50,540
		郵便振替等手数料	25,420
		雑費	41,515
		次年度繰越金	548,198
合計	2,672,174	合計	2,672,174

貸借対照表

平成17年3月31日

科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	461,638	平成17年度会費	438,000
郵便振替	234,560	次年度繰越金	548,198
定額貯金	290,000		
合計	986,198	合計	986,198

上記のとおりご報告いたします

平成17年3月31日

会計 諸我時夫

上記は適正であることを認めます。

会計監査

木下伸

母校を励ます会・報告

温かいご支援ありがとうございました

母校を励ます会

ホームページ

各家庭にインターネットが入り、片貝町でも待望のADSLが導入されてインターネットが普及してきました。東京片貝会でも「東京片貝」ホームページを開設し、最新の片貝情報や会の活動などをお知らせしております。

また、「母校を励ます会」では皆さんからのご寄付を元に発足以来二十三年間毎年継続している片貝小、中学校への図書贈呈と教育講演会を準備中です。今年も五十歳の記念行事を行う「つくし会」から講師をご推薦いただきました。これまでの講演会の概要や母校からのお礼状、ご寄付いただいた方々などもホームページで紹介しております。同郷の皆さんの想いのページとなるよう努めますので是非ご覧になって寄稿や掲示板への書き込みをお願いします。

励ます会会長 本田秀幸

- メニュー
- トピックス
- 活動記録
- 東京片貝会会報
- 母校を励ます会
- 会則と会費など
- 組織と役員
- 資料室
- ***掲示板***
- ***管理人へメール

<http://tokyokataikai.hp.infoseek.co.jp/>

平成16年度東京片貝会母校を励ます会・会計報告 収支計算書

(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	897,783	図書寄付金	200,000
基金協力金(162名)	428,000	中越地震小・中見舞金	200,000
受取利息	11	講演会費	20,000
		印刷・通信費	2,040
		交通費	40,000
		事務費	660
		次年度繰越金	863,094
合計	1,325,794	合計	1,325,794

通算収支計算書

(自昭和58年5月 至平成17年3月31日)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
基金協力金(延 2,338 名)	6,492,700	図書寄付(22回)	4,800,000
受取利息	277,459	小学校130周年寄付金	200,000
		中越地震小・中見舞金	200,000
		講演会(21回)	300,000
		会費補助	35,000
		印刷・通信費	84,724
		交通費	210,000
		事務費	6,718
		懇親会費	70,000
		雑費	623
		次年度繰越金	863,094
合計	6,770,159	合計	6,770,159

貸借対照表

平成17年3月31日

科目	金額	科目	金額
郵便通常貯金	283,094	次年度繰越金	863,094
定額貯金	580,000		
合計	863,094	合計	863,094

上記のとおりご報告いたします

平成17年3月31日

会計 諸我時夫

上記は適正であることを認めます。

会計監査 本下伸

義援金のお礼

東京片貝会は、中越地震の被災の義援金として、昨年十月、片貝小学校、中学校へ各十万円を送付しました。

お礼の手紙を頂いています。会員皆様の故郷を愛する暖かいご支援に感謝申し上げます。

片貝小学校

中越大地震という思わぬ出来事により、学校も、少なからぬ被害を受けました。図書室も、本棚が倒れ、本は至る所に散乱しました。本棚も二つの大きな棚が使用できなくなり、床に本を積む有様となりました。本を片付けている最中にも大きな余震があり、

片付けを中断しなくてはならないという状態でした。とても悲惨な状況ではありましたが、片付けながらも、片貝小の充実した蔵書に驚き感激する機会でもありました。永年にわたり、子供達に本を贈っていたら、子供達にその歴史に触れた思いがいたしました。改めて感謝する次第です。

また、動揺のおさまらぬ子供達と私達の心をつなぐ役目を果たしてくれていると実感しております。

その支援を東京片貝会の皆様が生かして下さっていること、本当にありがたく思っております。会員の皆様にとぞよろしくお伝え下さい。(本間直子先生)(二部割愛)

片貝中学校

このたびは過分の義援金を賜り、御厚情のほど厚くお礼申し上げます。皆様の御厚意を最大限に生かしたいと考え、校内で相談し、左記の備品を購入させて頂きました。末永く活用したいと存じます。

職員一同、片貝中学校の教育を発展させるべく努力する所存ですので、今後とも相変わらずのお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。会員の皆様によりしくお伝えください。

- 1 書庫 2台
 - 2 書庫ベース 2台
- *今回の震災で、美術室前の飾り棚が破損し、その場所に書庫を設置しました。(二部割愛)

小千谷市長感謝述べる

杉並区議会

片貝煙火協会会長大いに語る。3月11日、表参道のネスパス新潟館で、泉田新潟県知事、長岡達平温泉若女将、片貝煙火協会藤塚昇司会長のトークショーが開催された。

杉並区とは、防災協定を結んでいるが、救援は発生翌日に東京から最も早く到着し、物心両面で多大なものであった。市長の心のもったお礼の言葉に、区長を始め多くの人達がハンカチを目に当てるという感動の場面があった。(お礼の言葉はホームページ)



片貝まつりの花火が紹介され、会場内には四尺玉の見本も展示され、来場者の驚き、興味をひいていた。

ふるさと・は・今

H16年12月から
H17年5月まで

母校近況

■小学校

11/8

児童数256名、大きな怪我を負うこともなく、全員無事に登校。15日振りに授業が再開された。

■中学校

2年

わたしは、こたつの中に入って、テレビを見ていました。テレビがおわって、こたつから出ようとしたら、電気がきえて大きな地しんがきました。びっくりして、コタツの中にすぐ入りました。すこし地しんがおさまったら、かいちゅう電とうをもって、外に出ました。家の前に、ひなんしました。そしたら、お父さんが「家がくずれるかもしれないから、あぶないよ。」と言ったので、となりのはたけに、きんじょの人たちと、いっしょにいました。でも、さむかったので、お母さんが車をもってきてくれました。

あさになって地しんがおさまってきたら、少しうちの中に入ってみました。そしたら、ガラスやくつがたくさんおちていました。わたしは、びっくりしました。
もう地しんがこないといいなあと思います。ほんとうにこわかったです。

ロボットと触れあい

片貝小児童の心のケア

県立自然科学館は、ロボット慰問デモを、12月26日片貝小で実施、ロボットとの会話やジャンケン、アザラシ型ロボットなどふれあいをを行った。一年生入学

入学式は、4/6に行われ男子20名、女子17名の計37名が入学した。

市内の新一年生は、全員で312名で昨年比べ63名少ない。

■中学校

震災片野野球部ボランティア

被災直後、日立市からの支援活動に、片野野球部二年生十名が参加した。余震続く中日立市職員と力を合わせ働いたことが縁となり、片野野球部を激励しようと、オリジナルTシャツが贈られた。

■中学校

巨人軍清原選手

十二月九日、清原選手が小千谷中学校を訪れ、片貝中を含む、四中学校の野球部員と実技指導、質疑応答などで交流した。沢山の野球用具や義援金、千万円を県へ寄贈した。

■中学校

全日本女子バレーボール

チーム 直接手ほどきに感激被災地復興支援として、全日本女子バレーボールチーム

の講習会が、四月七日小千谷総合体育館で開催された。片貝からも、多くの児童、生徒が参加し、憧れの選手からの指導で感動していた。

片貝中同窓会入会式

同窓会の入会式が、三月三日開催され、新会員は50名(男子27名、女子23名)で会名は「華成会」と名付けられた。励ましの言葉として、松井潤次氏(獣医さん、にじ会)の講演があった。

片貝中 教頭先生異動
転出 三村孝志 教頭
新潟市立鳥屋野中へ
転入 内山博之 教頭
長岡市立堤岡中より

浅原神社二年詣り
地震から約二ヶ月後の二年詣りとなったが、浅原神社はほぼ昨年並みの人出であった。縁起物を三百用意、ほぼ完売となった。

恒例の一〇八発の花火も被災後初めてのこと

恒例の一〇八発の花火も被災後初めてのこと

局などマスコミも多数訪れ、全国放映された。

片貝十大ニュース

JA越後おちや片貝中央支店は、十六年の管内十大ニュースを町民から募集し、12/31発表した。二位「中越大地

震発生」二位「片貝総合センター完成」三位「四十五年ぶりに片貝祭り屋台復活、町内を練り歩く」であった。

仙台フィル公演

聴衆の心とまます
仙台フィルハーモニー管弦楽団の有志によるアンサンブル慰問コンサートが、一月九日片貝総合センターで開催された。生憎の吹雪の中、三百名に近い聴衆が集まり、クラシックの演奏に聴き惚れた。

地震後の豪雪で厳しい冬
小千谷市の降雪は、二月一日に十九年振りに豪雪対策本部を設置、更に引き続き、二月四日には、昭和三十八年以来42年振りに自衛隊派遣を要請した。片貝地区は、中学校で最高198センチで、市内最高は大崩地区で380センチとなった。地震後の豪雪で、市内で倒壊家屋31件、死者四名と厳しい冬となった。

観光写真コンテスト
最優秀賞「三尺玉花火」
小千谷観光協会は、昨年度小千谷50周年だったことから、おちやまつりと片貝まつりをテーマとした記念写真コンテストを開催。最優秀賞に平沢の大湖さんの「平和の祈り正三尺玉」が選ばれた。

卒業学年プレイト披露

第4回同窓会は、二月二十日片貝総合センターで開催、約200名が参加した。同窓会では、第一回卒から現在までの58学年の名称を刻んだ木製プレートが披露された。プレイトは、片貝中学校へ寄贈され体育館に掲示される。



片貝中同窓会

きもの小千谷の歴史と未来展
生活の中のもの、小千谷の歴史と未来展が、4/14、4/17まで柏崎市で開催された。特別出展として片貝町の紺仁から、江戸時代の縮木綿復元「幻の縮帖・片貝木綿」が展示された。

高級レストランの料理と味
片貝に一流シェフたちがやってくる！みんなで作ろう！
パーティー料理」が、3/28片貝総合センターで開催され百名を超える親子連れや小学生が、東京の一流レストランの料理と味を堪能した。

被災した子供達を励ました
被災した子供達を励ました
いと都内の司厨士協会および友の会から申し入れがあり、片貝町協議会、同窓会、PTAが希望し実現した。

春の園遊会市長、議長が出席
両陛下に震災見舞いのお礼
天皇、皇后両陛下が主催する春の園遊会が4/13、東京の赤坂御苑で開催され、小千谷市の関市長と吉原市議会議長(共に片貝出身)が、夫人同伴で出席した。

市長は、
天皇陛下、
皇太子殿下
より、地震と豪雪に因りて声かけられ、お礼を述べることができ良かったと語った。

地震体験記発行
片貝三町内合同
片貝町四之町、高見、新屋敷の町内会は、このほど合同で中越大地震の体験をまとめた「大地震！その時！中越地震四之町の人々は」を発行した。

あとがき
震災はどこへでも来ます
十分用心しましょう (小宮)



あとがき
震災はどこへでも来ます
十分用心しましょう (小宮)